

Dance Dance Dance



第35回三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権

カルロス・フライタークWDSF会長のニューイヤー・メッセージ

第23回都道府県対抗 全国ダンススポーツ大会in和歌山

ねんりんピックおいでませ！山口2015



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

2016 No. 78



CHOICE UK コレクション 2016

2月6日(土)～

ヨーロッパ有名メーカーの最新ドレスを現地直接買い付け
本場のドレスを一挙公開



RS
Atelier

alfa
fashion

MARABO

edda hsu

Sapiel

REST
Elegance

Four
LONDON

JDSF会員様限定で新着ドレスをご購入頂きますと
BD Dance シューズをプレゼント致します!!



チョイスダンスショップ

171-0022

東京都豊島区南池袋2-26-7 城北ビル7階

TEL. 03-3980-5559

【営業時間】 11:00～19:00

チョイス・ロンドン・ジャパン

検索



New Year's message

ニューイヤー・メッセージ

日本のダンススポーツ愛好者の皆さんへ新年のご挨拶



世界ダンススポーツ連盟会長
カルロス・フライターク氏

Dear friends of DanceSport,

This year 2015 has been, again, a year plenty of important decisions which will, for sure, impact the future of our Federation.

As I mentioned on my last report, on 2014 and during the Annual General Meeting, it was decided to start with Continental Federations. The European Federation, "DanceSport Europe", was officially established, as you know, during the German Open Championship in 2014.

During the 2015 Annual General Meeting in Granada, they organised the first official meeting and the new Presidium was elected with Luis Vañó, from Spain, as President.

Also a very important decision was made in Granada: the acceptance of the new WDSF Code of Ethics. This was a step forward for our federation.

We received some months ago a congratulation letter from the President of the IOC, Thomas Bach, with the following words:

"Allow me to thank you regarding the WDSF Code of Ethics and the elections for your Ethics Committee. Through Olympic Agenda 2020, the International Olympic Committee has emphasized the need to strengthen ethics and we appreciate your follow-up. Your positive approach is clearly shown in the formation of your Code of Ethics which will further strengthen your drive for transparency, good governance and accountability.

We appreciate the strong partnership we share with you and remain open to discuss any subjects with you.

Yours sincerely"

This is a very positive answer to our big effort to have the Code of Ethics implemented into our federation.

One more important decision was the creation of the new Adjudicating system 2.1 for all Grand Slam events and World Championships.

And also, one very positive step forward during the Granada AGM was the acceptance by the members of the amendment of the Competitions Rules in order to implement detailed Rules for the disciplines summarised as "Artistic DanceSport", Caribbean DanceSport, Folkloric DanceSport, Performing, Stage and Theatre Dances, Smooth Dance and Urban DanceSport. And these new Rules were accepted and have started on June 2015.

This is a very important step forward in our WDSF, because we will have all "Other Dances" included into our federation.

We are trying to find the right partners for our next World DanceSport Games and we are quite confident that the next edition will take place in 2016 at the latest.

Let me also mention here, that during the last Masters Games in Nice, we had a very high participation of Japanese athletes. They showed a very high quality of dancing and wonderful performances and I can say that these athletes reached very high results.

Thank you for sending these athletes to Nice.

I hope that the DanceSport in Japan can become more important in the future and that the work that you are doing at this moment, promoting our DanceSport on the young people, will see a positive result very soon.

Also the Professional Division is becoming every time more important for us in Japan, and we still wait that the Professional athletes in Japan will be, very soon, the most important value for our Professional Division.

Let me wish to all of you a Happy New Year 2016 and that the next year will bring to all of us luck and prosperity.

Best regards,

Carlos Freitag
WDSF President

ダンススポーツ愛好者の皆様へ

この2015年もまた、我々世界ダンススポーツ連盟 (WDSF) の将来にとって大きな影響を及ぼす重大な決断を行った年となりました。それは、2014年のWDSF年次総会において私が最終報告で述べたように、大陸連盟 (Continental Federation) と共にスタートをきるという決定です。ヨーロッパ連盟すなわち「ダンススポーツ ヨーロッパ」が2014年のジャーマンオープンチャンピオンシップの期間中に正式に設立されたことは、既に皆さんもご存知のことでしょう。

2015年にグラナダで開催されたWDSFの定例総会期間中に、彼らは設立総会を開催し、新執行委員会がスペインのLuis Vañó氏を会長に選出しました。さらに、グラナダでは新しいWDSF倫理コードを承認するという、非常に重要な決定も行いました。これにより我々連盟は一歩前進したのです。

数か月前、我々は国際オリンピック委員会 (IOC) トーマス・バッハ会長から下記の文言を伴ったお祝いの手紙を頂きました。

「WDSF倫理コードの承認と倫理委員会の選出に際しお祝い申し上げます。オリンピック・アジェンダ2020において、我々 IOCは倫理強化の必要性を強調しておりましたが、WDSFが賛同してくださったことは感謝の意に堪えません。WDSFの積極的な活動は、設立された倫理コードが将来にわたって運営の透明性、良質なガバナンス、そして説明責任を強化することを明確に示しています。我々は、あなた方との強いパートナーシップに感謝するとともに、いかなる課題についてもオープンにあなた方と協議いたします。敬具」

これは、倫理コードが我々の連盟に如何に大きな影響を及ぼしたかを示す、非常に明確な解答です。

もう1つの重要な決定は、すべてのグランドスラムと世界選手権に用いられる新審判システム2.1の作成でした。

そしてまた、グラナダの総会で、「アーティスティック ダンススポーツ」、「カリビアン ダンススポーツ」、「フォークロリック ダンススポーツ」、「パフォーミング、ステージ & シアター ダンス」、「スモーズ ダンス & アーバン ダンススポーツ」としてまとめられた種目に対する詳細なルールを盛り込んだ競技ルールが承認され、2015年6月から実施されたことは評価に値します。このことは、我々 WDSFにとって大変重要な一歩です。なぜならば、我々の連盟が「他のダンス」を全て包括して活動することになるからです。我々は、次の世界ダンススポーツゲームズの適切なパートナーを探しており、次回は2016年に開催できると確信しております。

ここでもう一つふれておきたいと思います。10月にマスターゲームズがフランスのニースで開催され、大変素晴らしい日本の選手に参加して頂きました。彼らは、非常に高い水準のダンスを踊り、素晴らしいパフォーマンスを発揮した結果、大変良い成績を得られました。このような選手をニースに派遣いただき感謝いたします。

私は、日本のダンススポーツが今後将来に向けより重要になること、そして私たちのダンススポーツを若い世代に伝えるという今の活動が、近い将来に良い成果を生み出すことを期待しております。

また、我々連盟にとって日本におけるプロフェッショナル部門は回を追うごとに重要な存在となってきており、日本のプロフェッショナルの選手たちもまた、早い時期に我々のプロフェッショナル部門において、より重要な価値をもつであろうことを期待しております。

最後に皆様方すべてのご多幸と今後のご発展を祈念して、2016年の新年のご挨拶といたします。

2015年12月吉日

世界ダンススポーツ連盟 (WDSF) 会長
カルロス・フライターク
(訳: JDSF国際本部長 鶴崎清貴)



舞い上がれ 日本の頂点へ！
世界の頂点へ！

第35回三笠宮杯

ダンススポーツランキングポイント取得競技会／
WDSF世界選手権代表選考

2015年10月11日(日) 東京体育館



三笠宮杯は1980年、三笠宮崇仁親王殿下が当時の日本アマチュアダンス協会（JADA：1999年日本ダンススポーツ連盟：JDSFに改称）総裁にご就任いただきましたことを記念して御下賜され、第1回大会は翌1981年に三笠宮崇仁親王殿下、百合子妃殿下のご臨席のもとに開催されました。以後、毎年欠かさず開催されています。そしてJOCジュニアオリンピックカップ全日本選手権は、未来のオリンピック選手育成を目的として公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が後援しJOCに加盟する連盟の主催により行われている競技であり優勝者には「JOC杯」が贈呈されます。また、今回も公益財団法人東京都スポーツ文化事業団との共催、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興基金助成事業として実施されました。



齊藤斗志二 JDSF 会長



並木一夫 東京都スポーツ文化事業団理事長



小坂憲次 ダンス文化推進議員連盟会長（参議院議員 JDSF 理事）、秋元司 同連盟事務局長（衆議院議員）



大いに盛り上がった Shall we ダンス タイム！

今大会では、主催者を代表し、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（JDSF）齊藤斗志二会長は大観衆の皆様へ感謝の辞を述べ「2020年東京オリンピックは残念な結果でしたが、2024年のオリンピックはダンス人口の多いヨーロッパ開催、特にパリ、ローマが有力といわれており開催地枠で開催の可能性は大きい。そして多くの人々に楽しんでいただくようにダンス文化推進議員連盟に風営法の改正をお願いし、今年6月に改正されました」と挨拶。続いて公益財団法人東京都スポーツ文化事業団並木一夫理事長は歓迎の辞を述べ「ダンススポーツの魅力、楽しさを存分に披露頂きたい。大会の成功とダンススポーツの益々の発展を祈念します」と挨拶されました。

また、ダンス文化推進議員連盟会長小坂憲次会長（参議院議員）は、JDSF 理事就任の報告と共に「6月17日の参議院本会議で可決成立しました！「ダンス」の文字が風営法から削除、いつでもどこでもダンスが楽しめる社会が実現しました。」と挨拶されました。

左から居樹保朗 東京都DS連盟会長、特別協賛（株）ブルボン 吉田康社長とトロフィーを高々と掲げ大歓声に応える久保田組

久保田組三笠宮杯8連覇達成！！
蘭羅選手現役引退



JOCジュニアオリンピックカップ全日本ダンススポーツ選手権



S・L
準優勝

石垣和宏・
中村安里組
（千葉県）

五月女光政・
五月女睿佳組
（栃木県）



S3位



L3位

樋掛 輝・
岡田愛彩組
（北海道）

濱田琉衣・
稲村百香組
（栃木県）



S・L
優勝



ラテン部門表彰式



スタンダード部門表彰式

全日本ダンススポーツ選手権



併催: JOCジュニアオリンピックカップ全日本ダンススポーツ選手権ジュニア
全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル/全日本選手権シニアV スタンダード
東京カップシニアⅢ スタンダード/第1回全日本サルサダンス選手権大会

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

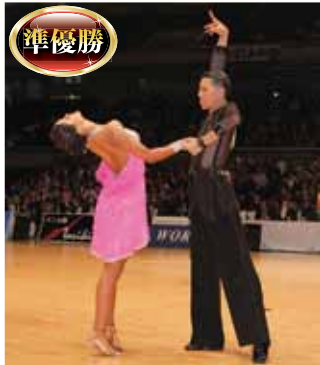
優勝

ラテン部門表彰式

兄妹カップルの久保田弓椰・久保田蘭羅組がスタンダードでもファイナル入りを決めなおスタミナ十分でラテン決勝に臨み会心の演技で観客を魅了、2001年から7連覇を果たした同じ兄妹カップルの瀬古薫希・瀬古知愛組を超える8連覇を達成しました。準優勝は今年の10ダンスチャンピオン八谷和樹・皆川円組(千葉県)に輝きました。

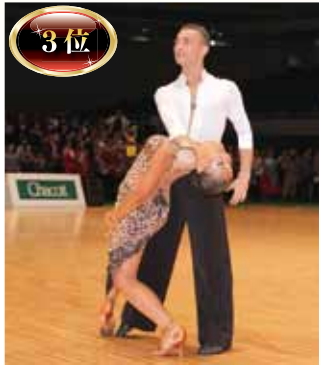


久保田弓椰・久保田蘭羅組(北海道)



準優勝

八谷和樹・皆川 円組
(千葉県)



3位

Ciubotariu Ionut・三橋 櫻組
(千葉県)



4位

渡辺安登・石垣真衣組
(ブルボン/千葉県)



5位

大西大晶・大西咲菜組
(ブルボン/富山県)



6位

西村康宏・大竹 舞組
(東京都)

スタンダード部門表彰式

昨年の三笠宮杯で現役引退を表明した石原正幸(株)ブルボン・伊藤沙織組の空いたチャンピオンの座を狙うウクライナ出身のオレクシー グザー・太田吏圭子組を軸に実績のある選手が揃い熱戦となりましたが、7月の静岡グランプリに続き9月の仙台グランプリを制したオレクシー組が実力を発揮し全5種目に1位を獲得、健闘の小嶋組は全5種目に2位となり準優勝に輝きました。



優勝



OLEKSIH GUZYR・太田吏圭子組(東京都)



準優勝

小嶋みなと・盛田めぐみ組
(神奈川県)



3位

八谷和樹・皆川 円組
(千葉県)



4位

大西大晶・大西咲菜組
(ブルボン/富山県)



5位

久保田弓椰・久保田蘭羅組
(北海道)



6位

山田恭平・秋山彩織組
(東京都)

2015三笠宮杯インタビュー

【三笠宮杯ラテン優勝、スタンダード5位】

久保田弓椰・久保田蘭羅組（北海道）

「8連覇を達成できて大変嬉しいです。今日で19年間一緒にやってきたパートナーは引退しますが、2人の間では三笠宮杯で8連覇できたらカップル解消することを決めていました。同じ兄妹カップル瀬古薫希・瀬古知愛組の7連覇を更新することができとても嬉しいです。僕は来年春に設立される札幌国際大学の大学院に進む予定です。妹は世界一のパートナーだと思っていますが、私は新しいパートナーと競技を続けていきたいと考えています。これからもジュニア選手の育成のお手伝いもしながら、北海道を拠点に頑張っていきたいと思っていますので、応援よろしくお願いします！」（弓椰選手）

「今日はとても楽しく踊ることができ、競技選手としてやり残したことはありません。充実した競技生活を送ることができたこと、兄、弓椰には本当に感謝しています。競技選手は引退しますが、今後も何らかの形でダンスとはかかわっていきたいと思っています。またどこかでお会いしましょう！」（蘭羅選手）



【三笠宮杯スタンダード優勝】

オレクシー グザー・太田史圭子組（東京都）

「今日は優勝することができて気分は最高です。体力的な疲れより、会場が大きいのですべての観客に感情を届けたいというエネルギーを使いました。より良いものを観客の皆さんにお見せしたいという気持ちが今日はとても強く持てたと思いますが、皆さん楽しんでいただけたでしょうか。去年の三笠宮杯は残念ながら優勝できませんでしたので、今年はもっと素晴らしい踊りで優勝したいと思い、一年かけてコーチとも相談し準備を重ねてきました。三笠宮杯優勝の目標は達成しましたが、まだ今年は世界選手権とワールドカップがありますので全力で頑張りたいと思います。」



【三笠宮杯ラテン準優勝、スタンダード3位】

八谷和樹・皆川円組（千葉県）

「新カップルとしては初ファイナルです。常に目標は高く持ちたいと思っていますので今日の成績に多少悔いは残っていますが、ラテン・スタンダードとも決勝に残れたことは大変嬉しいです。両種目を踊り切るためにJDSFの強化合宿に参加して体力をつけています。パートナーは岩手ですが、今は週4日東京まで出てきてもらって練習しています。そして大学生なので時間をやり繰りするのが大変です。当面の目標は全日本チャンピオンです。」



【三笠宮杯ラテン4位】

渡辺安登・石垣真衣組（ブルボン・千葉県）

「三笠宮杯はフロアーに出た瞬間、ジュニアの競技とは違うと感じました。今回は全力で1位をもぎ取る強い気持ちをもって踊り、チーム宮岡の代表として頑張りました。目標は常にファイナルを目指しています。練習は週5回しています。カップル歴は3年になります。大西組は意識しています。夏休みはジャーマンオープンに出場します。」



【三笠宮杯ラテン5位、スタンダード4位】

大西大晶・大西咲菜組（ブルボン／富山県）

「今回は優勝や表彰台を狙っていたので、ファイナルに入れたのは嬉しかったですが悔しさもあります。三笠宮杯は観客も多いのでプレゼンテーションを意識し、最後までパフォーマンスを落とさないことを重点的にやってきました。手応えはありましたが、準決勝で足が攣ってしまい100%力を出し切れなかったのが悔しいです。来年は優勝を狙って頑張ります。」



【JOCジュニアオリンピックカップ全日本ダンススポーツ選手権ラテン・スタンダード共に優勝】

濱田琉衣（中3）・稲村百香（中2）組（栃木県）

「カップルを組んで3ヶ月ですが、優勝は狙っていたのでダブル優勝ができてとても嬉しいです。今日はお客様へのアピールと笑顔をみせることに注意して踊っていましたが、なかなかうまく出来ませんでした。カップルを組んで日も浅いのでタイミングを合わせることに注意しています。リーダーは栃木県、パートナーは茨城県で家は離れていますが、練習は毎日やっています。二人の課題は体力が弱いことなので、もっと踊り込んで体力を付けたいと思っています。来年は三笠宮杯で決勝に残ることが目標ですが、将来は世界選手権で優勝することが夢です。」



【全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル ラテン優勝】

井田海飛（小6）・井田真鈴（小6）組（埼玉県）

「優勝できてとても嬉しいです。私たちは、さいたま市に住んでいて、小学校の1年からダンスを始めた双子の兄妹です。今日は姿勢に気をつけて踊っていましたが、決勝の時は優勝のことだけを考えて踊っていました。練習は週に4日していますが、夏休みや大会の前は毎日練習しています。ダンスはとても好きです。次の目標はジュニアの大会でも良い成績をとることですが、将来は瀬古組や久保田組のような誰でも知っている憧れの選手になりたいです。」



【全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル スタンダード優勝】

渡邊俊介（小6）・田中梨果菜（小5）組（千葉県）

「今日は優勝できてすごく嬉しいです。決勝ではリーダーはホールドを、パートナーは脚を大きく振り出すことを注意して踊りました。スタンダードはラテンより得意なので優勝する自信はありました。リーダーは埼玉県川越市から週5日、パートナーのいる千葉まで通って練習をしています。次の目標はジュニアで決勝に入ることですが、将来は世界で活躍する選手になりたいです。」



全日本ダンス スポーツ選手権 ジュブナイル

S優勝

渡邊俊介・田中梨果菜組
（千葉県）



L優勝

井田海飛・井田真鈴組
（埼玉県）



スタンダード部門表彰式



ラテン部門表彰式

【東京カップシニアⅢスタンダード優勝】

谷口主嘉・谷口小夜子組（京都府）

「私たちシニアの選手にこの三笠宮杯の会場で決勝を踊る栄誉を与えていただき感謝しています。海外では今、日本のシニア選手が大いに活躍しています。私たちも先週フランスのニースで開催されたワールドカップのシニアⅢスタンダードで準優勝、翌々日の世界選手権シニアⅡの10ダンスでも第8位の成績を上げることができました。この大会はヨーロッパアンマスターゲームズというシニアの祭典でダンスだけでなく様々な競技種目のある大会でしたが、日本からダンススポーツで17組ものシニア選手が参加していました。海外ではシニアがすごく元気です。」



【全日本選手権シニアⅤスタンダード優勝】

岩瀬純夫・岩瀬恵里子組（東京都）

「記念すべき第一回全日本シニアⅤ選手権で優勝できたことは大変光栄なことで、この年齢まで現役で続けてこられたことに感謝の気持ちで一杯です。これまで健康を維持してこられたのは、ひとえにダンススポーツのおかげです。競技会という目標があるから節制もし、鍛錬し、色濃い人生を歩んで来ることができました。生涯現役としてチャレンジしていくつもりです。今回、日本を代表する三笠宮杯の場にシニア年齢別競技会を設けていただき、熟年選手の大きな目標が一つ増えました。」



ご 来 賓



吉田康樹ブルボン社長とご同伴の皆様



田邊重光（公財）日本ボールルームダンス連盟会長と奥様
デヴィ・スカルノ夫人と則内慶彦大会実行委員長（左）石原正幸選手強化部コーチ（右）



ブルボンコーナー



関根由美子セキネ商事社長、鳥居修二郎東京トリキン社長、田原孝一ダンスうんどう塾北九州代表、小林英夫子どもダンスうんどう塾長、石場惇史氏



右から中井眞一郎副会長ご夫妻、齊藤斗志二会長、神林敬養命酒製造常務取締役、内山雅允事務局長、神宮周二広報部顧問



川上琴美山梨学院短期大学教授、恩田美栄フィギアスケート元オリンピック日本代表とご同伴の皆様



九州産業大学卒業アルバム作成のために取材する学生

カリビアン・ダンススポーツ&ショータイム



第1回サルサダンス選手権優勝 HIDE & PEKO（東京都）



JDSFアルムナイとチームマリアによるショー
馬谷マリア（ダンススポーツアンバサダー）



「レジェンド東京Chapter5」特別選定賞受賞 Fry SixB

日本初の世界ユース選手権 記者会見

WDSF World Championship – Kitakyushu
2016年7月9日(土) 北九州市総合体育館

我が国では初めてWDSF世界ユーススタンダード選手権が2016年7月9日(土)開催されることが決まり東京体育館第3会議室において記者会見が行われました。「北九州市総合体育館（福岡県北九州市八幡東区八王寺町4-1）において公益社団法人西日本産業貿易コンベンションの協賛、スポーツ庁、JOC、日体協の後援が予定されています。」と野上宏哉大会実行委員長（NJDC九州事務局長）から説明がありました。そして、翌10日にはWDSFワールドオープン・ユースラテン選手権が開催されることが発表されました。

第21回全国公認指導員・審判員ダンススポーツコングレス

中道俊之普及本部長の挨拶に続き、アジア女性初の国際ボディビル連盟（IFBB）PROアスリートとして活躍する国際審査員の齊藤まどか氏が「ダンスにおける、使える筋肉と魅せる筋肉の必要性」と題して、体づくりに必要なのは、運動、栄養、休息の3つであり、筋肉を大きくする必要はなく踊る中で造る筋肉が一番美しいと講演されました。続いて東アジア大会金メダリストのJDSF選手強化部コーチ石原正幸氏がWDSF（世界ダンススポーツ連盟）の教本に沿って、カップルポジションから始まり解剖学的な解説を交えた分かり易いダンススポーツの踊り方について特別講演を行いました。

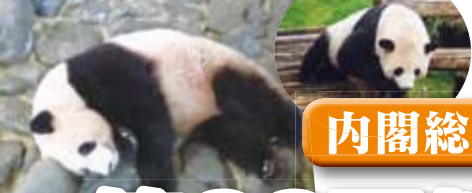


石原正幸講師



会見者：野上宏哉大会実行委員長、JDSF鶴崎清貴国際本部長、仲野巽同特任顧問、司会：岸尾政弘同総務部長





内閣総理大臣賞争奪

第23回都道府県対抗 全国ダンススポーツ大会in和歌山

2015年11月8日(日) / 和歌山ビッグウェーブ



開会式

オリンピック参加と並びJDSF（公益社団法人日本ダンススポーツ連盟）の設立時からの大きな目標である国民体育大会（国体）参加を前提に国体の開かれた都道府県において毎年開催されているのが、内閣総理大臣賞争奪都道府県対抗全国ダンススポーツ大会です。2015年の国体は、東日本復興支援第70回国民体育大会が和歌山県において「躍動と歓喜 そして絆」をスローガンに44年ぶりに開催されました。

和歌山は海と山の自然に恵まれ、動物園、水族館、遊園地が一体になったテーマパーク「アドベンチャーワールド」では日本で飼育されているジャイアントパンダ10頭のうち7頭が飼育されており世界一の規模です。

開会式にあたり、楠義隆県教育庁生涯学習局長が「和歌山県は国体後も生涯スポーツ振興に向けて、2017年に全日本マスターズ陸上競技選手権、2019年ねりんピッ



ク、2021年には生涯スポーツ世界最高峰である関西ワールドマスターズゲームズが開催されます」と仁坂吉伸和歌山県知事に代わり祝辞を述べ、続いて尾崎要二和歌山県議会議員（和歌山県DS連盟顧問）は「和歌山県を代表する紀の川のようによどみなく素晴らしい動きのある皆様のダンスを今日は存分にご披露ください」と挨拶されました。因みに県教育庁生涯学習局スポーツ課の阪部貴行指導主事は、「アジアで初めて日本で開催される事が決定しました。2021年は第10回の記念大会となり、その舞台は関西です。ダンス（ダンススポーツ）競技はこの和歌山ビッグウェーブで開催される見通しです」と話されました。

競技は個人戦ラテンからスタートしました。

団体戦は全国からスタンダードは26チーム、ラテンは18チーム合計44チームが参加し、大声援のなか熱戦が繰り広げられました。栄えある団体総合優勝は神奈川県に輝き2連覇を達成、準優勝は東京都、第3位は埼玉県となりました。優勝の神奈川県には、金子和裕JDSF常務理事から内閣総理大臣賞と優勝旗が贈られました。

※「ワールドマスターズゲームズ」はIOC（国際オリンピック委員会）承認の下に、国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が主宰する30歳以上が出場できるオリンピックに準ずるムーブメントの一つで4年毎に開催される生涯スポーツの国際総合競技大会です。

総合優勝
神奈川県
チーム

団体戦



内閣総理大臣賞に輝いた団体総合優勝の神奈川県チーム須田幸彦監督「みんなで頑張りました。2連覇を達成できて良かったです。とにかく竹島弘幸県連盟会長の凄いプレッシャーを感じていたので、ほっとしています」



準優勝
東京都
チーム

第3位
埼玉県
チーム



地元和歌山県チーム



文部科学大臣賞に輝いたA級戦優勝者



スタンダード優勝
大西大晶・大西咲菜組（富山県）

「16歳と14歳の兄妹です。今日はホールを大きくするように意識して踊りました。もちろん、スピードも加速しました。優勝できて嬉しいです」



ラテン優勝
名越慎悟・名越明子組（神奈川県）

「今日は踊りがしっくりいかなかったけど、優勝できて嬉しいです。次回はもっと良い踊りで連続優勝を目指します」



野田尚児和歌山県DS連盟会長



ご来賓と和歌山県役員（前列左から）尾崎和歌山県議会議員、楠和歌山県教育庁生涯学習局長、阪部同局生涯スポーツ課指導主事、浦同局スポーツ課副課長、（後列左から）若橋大会副会長、土井主管実行委員、中尾主管実行委員

A級戦St表彰式



A級戦La表彰式



全日本シニアⅢSt表彰式



全日本シニアⅢLa表彰式



個人戦



A級戦スタンダード優勝
大西大晶・大西咲菜組（富山県）



A級戦ラテン優勝
名越慎悟・名越明子組（神奈川県）



A級戦スタンダード準優勝
山田恭平・秋山彩織組（東京都）



A級戦ラテン準優勝
大久保稔也・土屋優海組（東京都）



全日本選手権シニアⅢスタンダード優勝
谷口主嘉・谷口小夜子組（京都府）



全日本選手権シニアⅢラテン優勝
清水久道・飯村美哉子組（東京都）

活躍した役員の皆さん



須田幸彦・足立恵子組
（神奈川県チーム監督）



石川誠一・石川美智子組
（新潟県会長）



藍澤寛一・藍澤和子組
（大分県会長）



中道俊之・中道和子組（岩手県会長）



藤本悟・藤本幸子組（兵庫県会長）

平成27年度ランキング競技結果・ 平成28年度DSCJ・JDSF競技会について

例年のように、平成27年度のJDSFランキング競技会の結果、平成28年度DSCJ・JDSF競技会予定及び2016年版競技関連規程集の主な改訂点についてご報告いたします。

平成27年の年間競技会開催回数はDSCJ公認・承認競技会あわせて308回(昨年298回)、JDSF主催は198回(公認190回、承認6回、普及2回)プロ団体110回(JPBDA71回)、NJDC31回、JBDF 8回)となりました。昨年と比べると全体では微増、JDSFは微減であった。なお、新メンバーのJBDFの開催が8回あった。

平成28年度のDSCJ公認競技会予定表は11月24日に各ブロック、都道府県連盟に通知いたしました。

この予定表に掲載されている競技会はDSCJ公認競技会の予備(仮)公認を得ていますので、開催日3か月前までに、正式な申請を行い、その内容に競技規則・規程等の違反がなく、競技会開催に問題がなければ正式にDSCJ公認競技会となります。



競技本部顧問
溝口 稔

1) 27年度JDSFランキング競技の結果(次項) 2) 28年度DSCJメイン競技会及びJDSF主催 競技会予定。

DSCJメイン競技

JPBDA主催

- 7/3 JPBDA主管アジアワールドスターズダンススポーツフェスティバル(WDSF OPEN)(ユース10ダンス選手権派遣競技会)[ホテルイースト21]
- 9/25 JPBDA西部主管 スーパーダンスフェスティバル[大阪:不死王閣]

NJDC主催

- 4/24 NJDCダンス選手権[アスカル幸手]
- 9/18 NJDC Japan Dance Trophy[福岡:宗像ユリックス]

JBDF主催

- 3/5,6 スーパージャパンカップ[東京体育館又は幕張メッセ]
- 6/11,12 日本インターナショナル選手権[日本武道館]

JDSF主催

- 6/5 東京インターナショナルオープン選手権[駒沢体育館]
- 4/17 ダンススポーツグランプリin大分[べっぴんアリーナ] La*
- 5/15 ダンススポーツグランプリin大阪[不死王閣] St*
- 7/24 ダンススポーツグランプリin静岡[浜松アリーナ] St*
- 8/28 ダンススポーツグランプリin北海道[きたえる] St*
- 9/11 ダンススポーツグランプリin仙台[青葉体育館] La*
- 10/9 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会[東京体育館] St&La*

※印はダンススポーツランキング競技です。

メイン競技以外のJDSF主催競技

- 5/22 全日本選手権10ダンス[愛知:津島市文化会館]
- 7/9 世界ユーススタンダード選手権[北九州市総合体育館]
- 7/10 ワールドユースオープンラテン[北九州市総合体育館]
- 7/31 第11回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ2016in群馬[前橋市総合スポーツセンター]
- 10/16 ねんりんピック[佐世保]
- 11/13 都道府県対抗全国ダンススポーツ大会[花巻市総合体育館]

※2016年国際派遣選考競技会

2016年度国際派遣選考競技会は部門別に下記の一覧表のとおりとなりました。

代表派遣を目指す選手の皆様はよくご覧になり、予定を立て奮ってご参加ください。

なお、平成24年からジュニアSt、Laの選考は、グランプリ大阪、オールジャパンジュニアDSカップ、三笠宮杯全日本選手権ジュニアの3大会のポイントにより選抜されることとなっています。

また、平成27年よりユースSt、La代表選考は、グランプリin静岡の全日本選手権ユース、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ及びグランプリin仙台的ユース区分の3大会のポイントにより選考とすることになりました。

2016年	グランプリ 大分 (ベッピン アリーナ) 4月17日	グランプリ 大阪 (不死王閣) 5月15日	グランプリ 静岡 (浜松 アリーナ) 7月24日	オールジャパン ジュニアDS カップ群馬 (前橋市スポーツ センター) 7月31日	グランプリ 北海道 (きた える) 8月28日	グランプリ 仙台 (青葉 体育館) 9月11日	三笠宮杯 (東京 体育館) 10月9日
グランプリ スタンダード		○	○		○		○
グランプリ ラテン	○					○	○
シニア スタンダード	○					○	
シニアラテン		○			○		
ユース スタンダード			○	○		○	
ユースラテン			○	○		○	
ジュニア スタンダード		○		○			○
ジュニア ラテン		○		○			○
ジュニア 10ダンス			○				

※2017年度世界10ダンス選手権への派遣選考会は、2016年5月22日(日)津島市文化会館で開催します。

※2017年度世界ユース10ダンス選手権への派遣選考会は、2016年7月3日(日)ホテルイースト21で開催のJPBDAアジアワールドスターズダンススポーツフェスティバルで行います。

※2017年度世界シニアⅡの派遣選考会は、3月13日(日)ダンススポーツフェスティバルin東京(東京体育館)で開催予定です。

※世界シニアⅢの派遣選考会は、2016年11月13日(日)全国都道府県対抗戦(岩手県:花巻市総合体育館)で開催予定です。

以上のことをしっかりとご確認の上で、DSCJ競技会にふるって参加して頂き、DSCJ競技会がなお一層活性化されまことを願っております。

3) 競技関連規程集について

本年も競技会主催者、競技役員用の競技関連規程全てを掲載した「2016年版DSCJ・JDSF競技関連規程集」を発行致しました。競技長始め競技会を運営される方はよくお読みになり、競技会開催時には是非お手元において、お役立て下さい。

今まで登録選手の皆様に配布されていた「選手用競技関連規程集」は廃止となりました。

2016年競技関連規程集の主な改訂点及び改訂内容

1 チェアパーソン（競技長）規程、同認定要領及びスクルティニア（採点管理者）規程、同認定要領の改訂

本年の改訂の大きな点は、競技長、採点管理長、競技会支援システム運用資格者という競技会運営役員が二つにまとめられて、名称がチェアパーソンとスクルティニアとなったことです。

チェアパーソン（略称CP）は、旧競技長と旧採点管理長資格者に認定された者に付けられた呼称です。スクルティニア（略称ST）は旧競技会支援システム運用資格者に認定された者に付けられた呼称です。更にスクルティニアのうち、リアル採点システム運用能力を有すると認められたものをスクルティニアスペシャリスト（略称STS）とします。

規程で注目すべき点は、資格の更新（CPは第7条、STは第9条）は、今まで3年以内に公認研修会を受ける事であったが、今回の改訂で年1回は公認研修会を受けなければならないとなったことです。

但し第2項で正当な理由で公認研修会を受けることができない場合は、課題レポートを提出し承認を得られれば、資格更新することができます。

（チェアパーソンの資格更新）

第7条 年内の新規資格取得者を除き、チェアパーソンの資格を更新するには、年末までに公認講習会又は公認研修会を受講しなければならない。

2 正当な理由により、前項に認める公認講習会又は公認研修会を受講することができない場合は、別途本部指定の資格更新審査の課題レポートを、年末までに本部に提出し、承認を得ることにより、当該資格の更新することができるものとする。

3 第1項又は前項に定める更新手続きを年末までに実施しない場合は、当該資格は抹消されるものとする。

（スクルティニアの資格更新）

第9条 年内の新規資格取得者を除き、スクルティニアの資格を更新するには、年末までに公認講習会又は公認研修会を受講しなければならない。

（以下2、3項はチェアパーソン第7条と同じ文言ですので、略します）

2 JDSF競技規則 公認競技 第4条 の3 その他の項で以下を改訂した。（以下、アンダーラインが改訂点で、2重取消し線は削除となる。）

- 1) シニアⅠ選手権、シニアⅡ選手権、シニアⅢ選手権
- 2) シニアⅣ選手権（年内に65歳以上と60歳以上の誕生日を迎えるもの、又は男女共60歳以上、又は合計年齢120歳以上）
- シニアⅤ選手権（年内に75歳以上と70歳以上の誕生日を迎えるもの、男女共65歳以上、又は合計年齢130歳以上）

3 語句の呼称の改訂

同点決勝戦⇒同点決定戦
プロ審判員⇒他団体審判員

4 服装規程の一部改訂

・WDSF規程の記載を削除する。

正装のみとし、正装とは、競技会出場選手服装規程に則った正しい服装」と解釈する。

・「肌色の…」は「肌と同色の」に変更

5 公認審判員規程の改訂（JDSF公認審判員の競技歴）

第4条 2 B級公認審判員は、スタンダード、ラテンのうちどちらか以下のいずれかに該当する者、及びそれと同等以上の者

- 1) 略
- 2) 年間ブロックランキング6位以内の成績を1回以上獲得の経験をする者
- 3) 年間ブロックランキング12位以内の成績を2回以上獲得の経験を有する者
- 4) 略
- 5) JDSFの公認A級戦、B級戦（他団体を除く）で所定の成績を収めた者

（所定の成績：出場組数の対して20%以内の順位を3回獲得、但し、A級戦は準決勝以上、B級戦は決勝以上）

6 国際派遣選手選考規程の改訂

第3条

4 第2条4の競技会（世界シニアⅡ（オープン）、Ⅲ（オープン）、Ⅳ（オープン）選手権）

~~シニアⅠ選考競技会、全日本選手権シニアⅡ、全日本選手権シニアⅢ、全日本選手権シニアⅣの成績等で決定。~~

全日本選手権シニアⅡはダンススポーツフェスティバル in 東京で、全日本選手権シニアⅢは都道府県対抗全国ダンススポーツ大会で開催する。

~~当番シニアⅡは前年あるいは当該年の出場可能な代表選考会（三笠宮杯、10ダンス代表選考会を含む）の決勝入賞者、シニアⅢは1次予選通過者、シニアⅣは出場可能な代表選考会（三笠宮杯、10ダンス代表選考会を含む）に前年あるいは当該年に1度以上出場経験者が対象。~~

第7条 1 審判員数を9名以上とする。（シニアⅢ、Ⅳは7名以上）

7 海外派遣選手援助規程

（対象選手及び帯同役員）

第2条 強化選手のうち国際派遣選手選考規程のより選考された選手及び~~シニア派遣選手帯同役員1名。~~

（援助額）

第3条 一組あたりの援助額上限はアフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア地域24万円、その他の地域は12万円とし、実費を越えないこととする。ただしワールドカップについては、その半額とする。
~~帯同役員の援助額は交通費、宿泊費の実費とする。~~

8 シラバス例の訂正、変更、注意点

入場料無料の記載場所、
申込料⇒エントリ手数料
服装はWDSF規程⇒正装に
同日2区分開催を実施する場合は、略称と競技名欄に1、2を記載

2015年度JDSFランキング競技の順位結果

ダンススポーツランキング

●スタンダード

1位	OLEKSII GUZYR・太田吏圭子	東京
2位	小嶋みなと・盛田めぐみ	神奈川
3位	久保田弓椰・久保田蘭羅	北海道
4位	八谷 和樹・皆川 円	千葉
4位	大西 大晶・大西 咲菜	富山
6位	山田 恭平・秋山 彩織	東京
7位	佐藤 祐馬・久保田理沙	東京
7位	渡辺 安登・石垣 真衣	千葉
9位	寒河江貴大・宮原 恵那	学連
10位	加地 渉・今橋 沙希	埼玉

●ラテン

1位	久保田弓椰・久保田蘭羅	北海道
2位	八谷 和樹・皆川 円	千葉
3位	藤井 創太・吉川 あみ	千葉
4位	渡辺 安登・石垣 真衣	千葉
5位	大西 大晶・大西 咲菜	富山
6位	鈴木 奨太・森田 舞夢	千葉
7位	西村 康宏・大竹 舞	東京
8位	千葉 海都・千葉 琳花	岩手
9位	名越 慎悟・名越 明子	神奈川
9位	田沢 拓都・徳野 夏海	千葉

全日本選手権10ダンス

1位	八谷 和樹・皆川 円	千葉
2位	大西 大晶・大西 咲菜	富山
3位	金井 大輝・甘利このみ	群馬

4位	千葉 海都・千葉 琳花	岩手
5位	澤井 優也・丸野 詩織	学連
6位	田川 貴一・安東ニシャ	愛知

全日本選手権シニア（世界戦第1代表選考）

●スタンダード（グランプリ in 大阪）

1位	高杉 耕一・高杉 綾子	東京
2位	森川 豊則・鈴木 悠夏	大阪
3位	渡部 正光・渡部 典子	茨城
4位	谷口 主嘉・谷口小夜子	京都
5位	福田 武史・福田 良江	大阪
6位	須藤 純弥・高橋 由子	栃木

●ラテン（グランプリ in 仙台）

1位	名越 慎悟・名越 明子	神奈川
2位	宗形 隆史・宗形 葉子	埼玉
3位	河野弦二郎・河野 サヨ	大阪
4位	大手 俊幸・大手 真美	神奈川
5位	坂本 弘文・坂本 純子	福島
6位	清水 淳・清水日奈子	茨城

全日本選手権シニア（世界戦第2代表選考）

●スタンダード（グランプリ in 北海道）

1位	草場 康司・草場 利佳	東京
2位	大東 哲平・大東 くに	東京
3位	谷口 主嘉・谷口小夜子	京都
4位	須藤 純弥・高橋 由子	栃木
5位	西 幸作・田上 スミ	埼玉
6位	松村 健樹・松村 栄子	奈良

●ラテン（グランプリ in 沖縄）

1位	白井 泰昭・長友 奈緒	神奈川
2位	河野弦二郎・河野 サヨ	京都
3位	佐々木幸一・佐々木秋香	神奈川
4位	宗形 隆史・宗形 葉子	埼玉
5位	大手 俊幸・大手 真美	神奈川
6位	武田 澄人・武田 歩	埼玉

ユースランキング

				全日本選手権ユース (グランプリ in 静岡)	オールジャパン ジュニア DSカップ in 神奈川	グランプリ in 仙台	上位2大会
●スタンダード							
1位	大西 大晶・大西 咲菜	富山		70	80	75	155
2位	藤井 創太・吉川 あみ	千葉		75	75	70	150
3位	渡辺 安登・石垣 真衣	千葉		60	70	65	135
4位	海老原拳人・タカギルナ	千葉		55	60	60	120
5位	渡辺 安登・石垣 真衣	千葉		50	65	55	120
6位	金井 大輝・甘利このみ	群馬		45	50		95

				全日本選手権ユース (グランプリ in 静岡)	オールジャパン ジュニア DSカップ in 神奈川	グランプリ in 仙台	上位2大会
●ラテン							
1位	藤井 創太・吉川 あみ	千葉		75	80	70	155
2位	大西 大晶・大西 咲菜	富山		65	75	75	150
3位	渡辺 安登・石垣 真衣	千葉		70	70	65	140
4位	海老原拳人・タカギルナ	千葉		55	65	55	120
5位	千葉 海都・千葉 琳花	岩手		40	60	60	120
6位	金井 大輝・甘利このみ	群馬		50	40	50	100

ジュニアランキング

				グランプリ 大阪	オールジャパン ジュニア DSカップ in 神奈川	全日本選手権 ジュニア (三笠宮杯)	上位2大会
●スタンダード							
1位	五月女光政・五月女睿佳	群馬		60	70	75	145
2位	日比野 湧・三喜穂菜美	千葉		65	75	公欠	140
3位	荒井良之介・滝本りさ子	栃木		70	65	公欠	135
4位	石垣 和宏・中村 安里	千葉		55	60	70	130
5位	柴木 毅門・井上 乃天	神奈川		35	55	65	120
6位	萩原 匠・萩原里奈子	東京		50	50	60	110

				グランプリ 大阪	オールジャパン ジュニア DSカップ in 神奈川	全日本選手権 ジュニア (三笠宮杯)	上位2大会
●ラテン							
1位	五月女光政・五月女睿佳	群馬		70	65	75	145
2位	日比野 湧・三喜穂菜美	千葉		65	70	公欠	135
3位	石垣 和宏・中村 安里	千葉		60	75		135
4位	樋掛 輝・岡田 愛彩	北海道		35	60	70	130
5位	千葉 隆矢・齋藤 杏美	岩手		55	40	55	110
6位	太田 歩生・太田なごみ	北海道		45	60	105	100

全日本選手権ユース10ダンス

1位	藤井 創太・吉川 あみ	千葉
2位	菅原一樹・Daria Chechel	東京
3位	大西 大晶・大西 咲菜	富山
4位	渡辺 安登・石垣 真衣	千葉
5位	海老原拳人・タカギルナ	千葉
6位	金井 大輝・甘利このみ	群馬

全日本選手権ジュニア10ダンス(グランプリ in 静岡)

1位	濱田 琉衣・稲村 百花	群馬
2位	石垣 和宏・中村 安里	千葉
3位	日比野 湧・三喜穂菜美	千葉
4位	五月女光政・五月女睿佳	栃木
5位	樋掛 輝・岡田 愛彩	北海道
6位	太田 歩生・太田なごみ	北海道

全日本選手権ジュブナイル(三笠宮杯)

●スタンダード				●ラテン			
1位	渡邊 俊介・田中梨里菜	千葉		1位	井田 海飛・井田 真鈴	埼玉	
2位	木下 将希・片岡まりの	千葉		2位	上岡 裕人・和田 享華	栃木	
3位	井田 海飛・井田 真鈴	埼玉		3位	山本 壮真・三喜真梨菜	愛知	
4位	滝川 貴之・山下実彩妃	愛知		4位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈	神奈川	
5位	久保 力也・大西陽来里	富山		5位	渡邊 俊介・田中梨里菜	千葉	
6位	山本 壮真・三喜真梨菜	愛知		6位	濱田 琉成・谷田貝真奈	栃木	

ブロックランキング

北海道

●スタンダード				●ラテン			
1位	大木 大樹・大木 風香			1位	大木 大樹・大木 風香		
2位	嵯上 直道・嵯上 弘子			2位	土屋 崇紀・品田 冴		
2位	稲垣 浩・伊藤千恵美			3位	久保田弓椰・久保田蘭羅		
4位	多田 弘二・多田 華						
5位	高橋 毅・高橋まり子						
6位	蒲生 徹・川村 一桜						

東北

●スタンダード				●ラテン			
1位	野地 雅人・渡辺 陽由	福島		1位	野地 雅人・渡辺 陽由	福島	
2位	山下 和男・山下千佳子	岩手		2位	舘 紳也・佐々木彩乃	岩手	
2位	後藤 大悟・後藤ひなた	福島		2位	後藤 大悟・後藤ひなた	福島	
4位	千葉 英明・千葉 順子	岩手		2位	千葉 隆矢・齋藤 杏美	岩手	
5位	及川 久隆・及川 加代	岩手		5位	中島 栄英・荒井かおり	福島	
6位	板垣 雅道・板垣久美子	青森		6位	吉田 武将・田中 悦子	青森	
6位	渡部 徹・渡部 節子	秋田					

関東甲信越

●スタンダード				●ラテン			
1位	金井 大樹・甘利このみ	群馬		1位	西村 康宏・大竹 舞	東京	
2位	山田 恭平・秋山 彩織	東京		2位	金井 大樹・甘利このみ	群馬	
3位	寒河江貴大・宮原 恵那	長野		3位	田沢 拓都・徳野 夏海	千葉	
4位	海老原拳人・タカギルナ	千葉		4位	海老原拳人・タカギルナ	千葉	
4位	田沢 拓都・徳野 夏海	千葉		4位	塚田 浩二・小島 綾夏	栃木	
6位	高杉 耕一・高杉 綾子	東京		6位	押川 慧悟・和田 知世	神奈川	

中部

●スタンダード				●ラテン			
1位	大西 大晶・大西 咲菜	富山		1位	大西 大晶・大西 咲菜	富山	
2位	鈴木 宏之・岡田 敦子	愛知		2位	海原 優太・松村 舞風	富山	
3位	高木 克之・日下貴志子	愛知		3位	村上 正樹・大場あゆみ	愛知	
4位	羽根田剛英・佐野 郁恵	静岡		4位	安藤 貴洋・鶴飼 恵里	愛知	
4位	浜松 茂・安藤 江里	静岡		5位	杉山 典克・杉山 美子	静岡	
6位	海原 優太・松村 舞風	富山		6位	佃 昌光・佃 順子	静岡	

西部

●スタンダード				●ラテン			
1位	谷口 主嘉・谷口小夜子	京都		1位	那須蓮太郎・西 さくら	大阪	
2位	松林 勝・藤 めぐみ	滋賀		1位	佐藤 寿一・佐藤美奈子	岡山	
3位	加藤 修久・加藤 裕子	大阪		3位	大矢部廣昭・中川 弘美	大阪	
4位	那須蓮太郎・西山さくら	大阪		4位	谷口 主嘉・谷口小夜子	京都	
5位	青井 昭博・田中喜美子	滋賀		5位	徳田 俊介・藤田由里佳	大阪	
6位	大矢部廣昭・中川 弘美	大阪		6位	笠井 康広・福岡みあき	兵庫	

九州

●スタンダード				●ラテン			
1位	津崎 伸宏・津崎光佐子	熊本		1位	濱田 一樹・橋本 愛	福岡	
2位	岡田 浩・岡田 素子	熊本		2位	水上喜代志・野北 結花	福岡	
2位	甲斐他美夫・甲斐 幸子	福岡		3位	橋本 孝之・橋本 祥子	熊本	
4位	徳野 一也・下河邊衣津子	福岡		4位	石田 直・石田 陽子	福岡	
5位	井上 大吾・下村 貴子	福岡		5位	中川 明・中武 ゆか	熊本	
5位	堤 一幸・西田有輝子	福岡		5位	西脇 達也・玉利 伸子	福岡	
5位	松本 裕孝・廣瀬 友美	佐賀					

第7回 沖縄ねんりんピック 第6回 沖縄県秋季ダンススポーツ競技会

2015年9月27日(日)／沖縄県総合福祉センター・ゆいホール

大型台風が沖縄県先島諸島に向かっている中、沖縄本島には影響は殆どなく、冷房がしっかり効いた会場は選手にとって心地よい環境で熱戦が繰り広げられました。

沖縄ねんりんピック戦はラテン、スタンダードは男女共59歳以上の誕生日を迎える(1)選手と55歳以上の誕生日を迎える(2)選手とに分けて開催され、沖縄県の代表選手として、毎年各県で開催されるねんりんピック競技会に派遣されています。新たに代表選手が決まることで、出場者にとって楽しみな競技種目です。来年のねんりんピックは長崎県において10月15日～18日に開催され、ダンススポーツは16日(日)、佐世保市東部スポーツ広場体育館で開催されます。

沖縄県の特徴として、ラテン競技はどなたも自然に身体が伸びやかに音楽に乗って踊っています。南国の暖かい風土が醸し出される雰囲気は身につくからか、沖縄のエイサーの踊りなども影響しているのでしょうか？ そんな中、ねんりんピックと4級戦出場の上地和美さんが「笑顔が一番、素晴らしいです」と、深谷はるみ審判長から特別発表がありました。



開会式



観客の皆さん



笑顔が一番と特別発表の上地和美さん



左から比嘉憲和大会顧問(前会長)、比嘉和雄大会会長(現会長)、玉城峰子事務局長



沖縄ねんりんピック(1)スタンダード優勝
仲地恵全・親泊妃呂子組
(米子DSサークル)



沖縄ねんりんピック(2)スタンダード優勝
岩本 豊・當間美波組
(アカミネダンスサークル)



沖縄ねんりんピック(2)ラテン優勝(ねんりんピック山口にも出場)
三原シミ・島袋美代子組
(レオン・エリ・ダンススクール)

キラ星み～つけた！

★照屋一茶(12歳)小学6年生・嘉陽田亜純(15歳)高校1年生

1級戦スタンダードに出場し優勝です。亜純さんは8歳からダンスを始めて、今は週4回2時間位練習しています。三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権ジュニア部門のスタンダード、ラテンに出場もします。早く海外の競技会で活躍したいです。

※DDD58号:2011年冬号に兄の照屋瑠華さん、当時10歳も「★キラ星み～つけた！★」に登場しました。



シニアⅢ B級戦 スタンダード優勝
安富 久・松田和子組
(Enjoy21ダンスサークル)



シニアⅢ C級戦 スタンダード 優勝
(シニアⅢ D級戦 スタンダード優勝)
照屋正男・照屋律子組
(レオン・エリ・ダンススクール)



DSCJ C級戦 スタンダード優勝
山入端剛・國廣真里枝組(米子DSサークル)



DSCJ D級戦 スタンダード 優勝
山本 敬・仲村ゆかり組(DSサフラン)

My Dream

ランディ ドレンテ・奥間祐美組

1級戦ラテンで優勝しました。彼はハワイから米軍の仕事で沖縄に来ました。ダンスの練習を始めて2年目になりましたが、競技会出場は今日で2回目です。ダンスは男性と女性の醸し出す雰囲気と、楽しく踊れることが良いと思います。実は、パーティ会場でも仲間の前で彼が膝まずいてプロポーズしてくれました。結婚して半年になります。これからますます二人でダンスに磨きををかけていきたいと思います。



第89回 全東北学生競技ダンス選手権大会

2015年11月21日(土)／宮城県富谷町総合運動公園武道館

全東北学生競技ダンス連盟委員長 佐々木聡凛(岩手大学4年)



春の大会(岩手県滝沢市総合公園体育館)2016来年岩手国体をアピールしたマスコット

全東北学生競技ダンス連盟は加盟5大学(弘前大、岩手大、東北大、山形大、福島大)で構成され、いずれも大学公認の課外活動団体であり2016年には連盟創立45周年記念事業を予定しています。東部学連などと比べると加盟校は少ないですが、負けず劣らずのエネルギーを持ってお互いに切磋琢磨しあい日々活動を行っています。

今大会は今年度最後の大会でもあり、年間唯一のフォーメーション戦も行われます。故に皆が特別な心持ちで試合に臨み、この一年間で最高の盛り上がりを見せました。例年の東北大学構内川内体育館から場所を変えての開催となり、通常のパイプ椅子席に比べると観客席が階段状に固定され、観客の皆さまからの視線をいつもよりもとても感じました。応援に来てくださった方々も、いつもより我々選手の熱を感じる事が出来たのではないのでしょうか。

メイン競技の団体戦優勝は岩手大学、準優勝東北大学、以下、弘前大学、山形大学、福島大学の順となりました。また、フォーメーション部門においても岩手大学が優勝を飾りました。

全東北学連では、2011年3月11日の東日本大震災を契機に、春の大会では、ダンスを愛好する市民の皆さんと共にダンスシューズを履きダンスを楽しむ「ダンスタイム」を設

け、学生とご声援をくださった方々との交流を行っております。夏の大会では、閉会式の講評に代え、プロの先生による講習会を会場に来てくださった皆様にも参加できる形で行っております。また秋の大会では春夏の公式戦に続き通常の学連の大会では行われないヴェニーズワルツとジャイブもトライアル競技として実施されました。ぜひ一度東北ブロックの大会に足を運んでいただき、東北だけでなく全国との交流が築けましたら幸いです。

そしていよいよ2016年は岩手国体(10月1日～11日)の年です。ダンススポーツ競技は国体デモンストレーション競技として、10月9日(日)に今年の春大会を行った岩手県滝沢市総合公園体育館で開催されることが決まっています。



開会式



福山博之大会会長



神宮周二連盟副会長



大会関係者(前列左端村上喜一郎宮城県ダンススポーツ連盟副会長、右側はOBOGジャッジ)

団体戦成績 (スタンダード)



ワルツ同点優勝
タンゴ、フォックストロット優勝
工藤芳孝・四戸 藍組(岩手大学)



ワルツ同点優勝 クイック準優勝
佐々木聡凛・櫻井真結組(岩手大学)



タンゴ準優勝
フォックストロット準優勝
佐藤哲太・佐藤里沙子組(岩手大学)



クイック優勝
高山 馨・松田李佳子組(東北大学)

団体戦成績 (ラテン)



チャチャチャ、サンバ、ルンバ優勝
今 直哉・松本莉那組 (山形大学)



チャチャチャ準優勝 ルンバ準優勝
柏 翔悟・矢羽々咲子組 (岩手大学)



サンバ準優勝
館 紳也・佐々木彩乃組 (岩手大学)



夏大会で公式戦初の女性実行委員長を務めた芝詩野さんは吉村智大主将と出場ルンバ9位と大健闘 (福島大学)



バンドブレ優勝
鈴木啓大・片岡奈緒美組 (弘前大学)



バンドブレ準優勝
阿部啓一郎・佐々木春菜組 (東北大学)



東北大学の
水野康介・木村仁美組の
選手宣誓



フォーメーション 優勝 岩手大学

ジャストフィットエンビ

最軽量&ストレッチで
フィット!!

大絶賛!
人気商品

芯地を抜いて
胴体にもフィット!!

既製品

¥145,000 (税別)

のところ、JDSF会員価格

¥130,500 (税別)

にて販売しております。

※詳しくはJDSF HP内
申込書をご確認ください。

袖幅は極限まで
絞込みフィット!!

¥145,000 (税別) (既製品)
上下・カマーバンド・ポケットチーフ付
¥160,000 (税別) (オーダー)
サイズ(9サイズ):YAM~LL AM~LL ABM~ABLL

JDSFスタンダードA級
菅原一樹



東京・秋葉原
東京トリキン(株)

エンビのトリキン

TEL.03-3866-4854 FAX.03-3866-4033

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-1 <http://www.torikin21.com>

営業時間/月~金 10:00~18:30 土日祝 10:00~17:30



選手宣誓 堀之内彬人・本田タ恵組
(鹿児島県)

第30回国民文化祭・かごしま2015 ダンススポーツフェスティバル

2015年11月8日(日)／鹿児島県総合体育センター体育館

ひっとべ!

かごしま国文祭

国民文化祭鹿児島市実行委員会
ダンススポーツフェスティバル企画委員長
吉原 睦巳
(鹿児島県ダンススポーツ連盟 筆頭副会長)



森博幸実行委員会会長
(鹿児島市長)



川内博史
(鹿児島県DS連盟会長)



前夜祭で挨拶する
居樹保朗(東京都DS連盟会長)

今年度の国民文化祭は、「本物。鹿児島県～文化維新は黒潮にのって」をテーマに、100余りの事業が10月31日からの16日間にわたって鹿児島県内の全市町村で開催されました。このうち、ダンススポーツフェスティバルは「燃える桜島の情熱をダンスのパワーにかえて」をサブテーマに開催いたしました。

本番前日の7日(土)午後には、鹿児島中央駅前のアミュ広場に設けられた国民文化祭の特設ステージにて、特別ゲストの久保田弓椰・蘭羅組にデモを披露していただきました。若い学生さんや乗降客など数百人の観客は、小林英夫先生の軽妙な司会に従って披露される日本一のダンスに魅了されていました。また、同じ舞台上上がった地元高校生トリオ堀之内・本田・田口組にも温かい拍手がわき、翌日の本番への好感触が得られました。その日の夜には、懇親を目的とした前夜祭が開かれ、約150名の参加者で賑わうなかJDSF本部理事である居樹保朗東京都DS連盟会長の乾杯の音頭で、多くの交流の輪が広がり翌日の本大会への英気を養うことができました。

大会当日の8日(日)は、朝からの強い降雨にもかかわらず、選手係を初めとするスタッフの緻密な誘導で、予定通り8時30分から入場式・開会式が行われ順調な滑り出しとなりました。森博幸鹿児島市長の挨拶、川内博史鹿児島県連盟会長の歓迎の辞に続き、堀之内・本田組の若々しい選手宣誓をもって演技・競技のスタートし、アトラクションやデモのような演技発表とダンススポーツの競技会を行いました。

まず、アトラクションの部では、約310名のジュニアとシニアを揃えたジャズダンス教室がトップを飾り、赤と白のコスチュームを着用して元気のよい踊りで場内の雰囲気をも明るく盛り上げてくれました。また、同じよう

に小学生のジュニアと鹿児島県連始良地区の80代迄のシニアが合同で、毎年11月3日に開催される南九州最大の祭り「おはら祭り」で踊る「ザ・オハラ21」を114名でパワフルに表現してくれました。

このほか、広木小の児童クラブを中心として49名のジュニアが子どもダンスうंदうを、地元の鹿児島女子高校新体操部は「龍馬伝」の曲に乗せてしなやかな踊りを披露してくれました。

フォーメーションの部では、岡山と鹿児島の4団体が日頃の練習の成果を基に、しっかりした演技発表を行ない、特に県内競技選手から選抜した12組によるタンゴ・ワルツのメドレーでは、そろいの真紅のドレスで切れ良く優雅に踊り、観客の大きな拍手をもらいました。

デモの部では、今年10月の三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権のラテン部門を8連覇し、この鹿児島の地がペア最後のデモとなる久保田弓椰・蘭羅組の踊りが圧巻でした。デモ前半のスタンダード披露時には観客数が約1700名に達し、出演者を含めると2400名を超えたかと思えます。また、幼少の頃から単にダンスのみならずあらゆる面で育ての親ともいえる師匠の小林英夫先生による分り易く楽しい司会進行が、現在の久保田組の状況をよく演出され理解した観客の涙を誘っていました。そして、ラテン最後の曲では場内全体が自然発生的にスタンディング・オベーションとなり観客の拍手が鳴りやみませんでした。

このほかにはテレビ番組の企画をきっかけにダンスに取り組み、番組内外でダンススポーツや国民文化祭を県民に広く周知して頂いた地元のアナウンサーペアの初々しい踊りに大きな拍手が寄せられました。

一方、競技の部では9県42チーム、440名が個人戦と団体戦を競いました。個人戦は、西郷隆盛戦(A～D級相当)、大久保利通戦(1～6級相当)、東郷平八郎戦(ペアどちらか60歳以上)及び篤姫戦(ジュニア、大人女性同士)に分かれ、午前はラテン、午後はスタンダードが行なわれました。通常の競技会と違い、初めて競技に参加した方々もサークルの仲間や知人の応援を受け、一生



鹿児島中央駅前の国文祭の特設ステージにて観衆を魅了した久保田弓椰・蘭羅組



鹿児島県 DS 連盟のスタッフ一同

懸命踊る姿は微笑ましく、国民文化祭らしい大会となりました。

ダンススポーツフェスティバルの華である団体戦は42チームがフロアの3方向に座り、各チーム席からの出場となりました。自分のチームが予選を通過するかどうか、アナウンスに一喜一憂の声が上がり、にぎやかで楽しい団体戦となりました。結果は、福岡の「山笠」、「どんたく」チームが優勝、準優勝となり、「鹿児島ぐりぶー」チー

ムが第3位に入りました。

祭典を通して大きなトラブルもなく、表彰式・閉会式までほとんどタイムテーブル通り進行できましたことは、スタッフ及び出演者の方々のご協力の賜物と思っています。

最後に、この2年半にわたり、企画委員会とともにあった鹿児島県・鹿児島市国民文化祭室の皆様にご心からの感謝とお礼を申し上げます。



アトラクション



ジュニアジャズダンスチーム



よかにせよかおごじょ選抜チームフォーメーション



鹿児島女子高校新体操部



ザ・オハラ 21

デモンストレーション



これが最後！ 圧巻のデモ、ペア最後のダンス
全日本チャンピオン久保田弓椰・久保田蘭羅組



万感の熱き思い！
師匠の小林英夫先生と久保田弓椰・久保田蘭羅組



鹿児島読売テレビで毎週金曜に放送中の「かごびた」に出演している服部友一アナウンサーと田上真澄レポーターがラテンのデモ

チーム対抗団体戦



優勝 山笠チーム（福岡県）



準優勝 どんたくチーム（福岡県）



第3位 鹿児島ぐりぶーチーム（鹿児島県）

個人戦優勝

西郷隆盛戦



スタンダード
甲斐他美夫・甲斐幸子組
（福岡県）



ラテン
前川 直・前川絢早組（福岡県）

大久保利通戦



スタンダード
山本祐三・山本美津子組
（鹿児島県）



ラテン
与倉豊仁・椎原綾乃組
（鹿児島県）

東郷平八郎戦



ラテン・スタンダード
中村辰郎・中野久美子組
（鹿児島県）

ベネデット&クラウディア、 ガブリエル&アンナが世界チャンピオンに!!

特任顧問 仲野 巽 (選手強化担当・PD本部長代行)

写真：仲野巽・高杉綾子・WDSF 協力：ベネデット&クラウディア・広報部 (神宮・宮崎)

新世界チャンピオン誕生

昨年2015年は、WDSF競技会にとって新時代の幕開けとなりました。プロフェッショナル (PD) 部門、アマチュア部門ともに、前世界チャンピオンの引退、又はパートナーシップ解消によってチャンピオンの座が空席になったからです。

注目の4つの世界選手権は、11月、12月の2カ月に集中して開催されましたが、空席を目指して世界中の選手が、1月から11月まで多くの競技会で激しく競いあい、最後に新たに4組が新世界チャンピオンになりました。

その中で、世界プロスタンダード・チャンピオンには、ベネデット・フェルッジア&クラウディア・ケーラー組が、世界ラテン・チャンピオンにはガブリエル&ゴッフレード組とアンナ・マトゥス組の二組が輝くことになりました。この二組は、JDSFの強化合宿やレクチャー、個人レッスンなど選手強化に多大な貢献をされてきました。また、WDSF新教本DVDのモデル、指導員コンgresでの講師などで大変お世話になっている関係が深い選手です。本当に、おめでとう

世界プロ・スタンダード選手権 (2015/10/10)

優勝	ベネデット・フェルッジア & クラウディア・ケーラー	ドイツ	得点 194.390
2位	ドナタス・ヴェゼリス & リナ・チャトケビシウテ	リトアニア	得点 188.617
3位	マルコ・カヴァラロ & レティツィア・イングロツ	イタリア	得点 185.236

と言いたいと思います。

まず世界プロ・スタンダード選手権は10月10日、ドイツのライプツヒで行われ、引退したミルコの空席を狙って激戦となりましたが、ベネデット&クラウディア組が2位のドナタス&リナ組 (リトアニア) を大きく引き離して圧倒的に優勝。ちなみにライプツヒはクラウディアの故郷で、故郷に錦を飾ることになりました。しばらくは世界プロチャンピオン、ベネデット&クラウディア組が君臨する時代となるでしょう。

世界ラテン選手権は11月21日、オーストリア・ウィーンで行われ、年初から勝ったり負けたりを繰り返しながらの激戦を経て、とうとう最後にガブリエル&アンナ組が優勝して念願の世界チャンピオンになりました。2位はアルメン&スヴェトラナ組 (ロシア)、3位は3月カップル結成直後の東京オープンで優勝したマリウス&クリスティーナ組 (ドイツ) でした。接戦の予想に反して、大差でガブリエルたちが狂勝。1週間あとの上海グランドスラム・ファイナルでも優勝し、ガブリエル新時代の到来が予想されます。

世界ラテン選手権 (2015/11/21)

優勝	ガブリエル・ゴッフレード & アンナ・マトゥス	モルドバ	得点 190.886
2位	アルメン・ツァトゥリアン & スヴェトラナ・グディノ	ロシア	得点 184.586
3位	マリウス・アンドレイ・バラン & クリスティーナ・モシエンスカ	ドイツ	得点 184.214

ベネデット・ガブリエルとJDSFの深いつながり！

ベネデットたちとは、3年前の2012年8月ドイツ・シュツットガルトのジャーマンオープンで、日本選手の強化のために年に数回日本に来てくれないか、と頼み込んだのが始まりでした。ダンススポーツ選手も他のスポーツと同様に、海外からトップコーチをよんだり、海外遠征や海外トレーニングに出かけたり、選手に国際的な環境を与えなくては世界レベルの選手は育成できない (ひいてはダンススポーツの認知度向上のためのスター選手を育成できない) という信念のもとに、彼らに指導を頼みこみました。

彼らは快く (本当はどうしようか考えたようですが、最後は意気を感じて) 願いを聞いてくれて、超多忙な日程を調整して、その後3~4カ月単位で来日し、強化選手の指導を行ってくれるようになりました。最初の指導のため鹿島での夏合宿に参加してくれた時は、ジャーマンオープンからそのままモスクワで指導し、さらに日本へ。山のような旅行鞆を持参したので車のトランクに入らなくて、それぞれ荷物を膝に乗せてもらって鹿島合宿地へ連れて行ったことが思い出されます。

2014年からはガブリエル&アンナもラテンのコーチ

としてベネデットたちと一緒に来日してくれるようになり、我々も彼らの所属するチーム・ディアプロの本拠地イタリア・モリネッラで合宿したり、交流が進みました。

さらに、2013年からWDSF新テクニックブックの日本語版を発行することになり、その教材DVDのモデルを彼らにお願いしWDSF新テクニックブックの実質著者のチーム・ディアプロがテクニックの詳細の質疑応答に対応してくれて、多岐にわたってチームディアプロにお世話になってきました。

ベネデットたち、ガブリエルたちの指導に対して、積極的にユース、ジュニアの若い選手たちが、日本でのレッスンのみならずイタリア・モリネッラの指導にも参加して、その結果今や日本のファイナリストの多くをユース選手が占めるようになりました。この成長の大きな要因はベネデット、ガブリエルの指導が貢献していることは言うまでもありません。

選手強化部では、2016年は3月にイタリア競技会参加、3月末に春合宿でベネデット、ガブリエル来日、4月末イタリアで海外合宿など、選手強化を進めていく予定です。



ベネデット組



ガブリエル組



新世界チャンピオンへのインタビュー

〈ベネデット&クラウディア〉

広報部：チャンピオン獲得、おめでとうございます。最初にプロ世界チャンピオンになった感想をお願いします。

ベネデット：プロになってからは競技会が少ないので、世界選手権は少し緊張したけれどプロチャンピオンになれて本当に嬉しい。サポートしてくれた皆さんに感謝します。

広報部：アマチュア時代何度も世界選手権で優勝していますが、プロ世界選手権では違うところはありますか？

ベネデット：やはり、踊りの質、テクニクの正確性、音楽解釈、コリオグラフィなど一段と高い質が要求されるので、多くの準備をしてきました。広報部：今回のライブチヒはクラウディアさんの故郷でしたが、いかがでしたか？

クラウディア：多くの友人が応援に来てくれました。私が最初にダンスを習い始めた時の先生も応援してくれました。それに、両親が来てくれました。ライブチヒでチャンピオンになれて本当に感激です。

広報部：今後の目標は何ですか？

ベネデット&クラウディア：もっともっと勉強を続けて、プロチャンピオンとして恥ずかしくない選手をめざしたいです。

広報部：日本の強化選手たちに一言お願いします。

ベネデット&クラウディア：日本の選手たちはすごく成長しているので、我々も嬉しい。しかしもっと成長するには、次のステージに入ることが必要。それはもっと海外、特に欧州に来て国際環境にもまれることです。

〈ガブリエル&アンナ〉

広報部：チャンピオン獲得、おめでとうございます。(WDSF YouTubeの世界選手権表彰ビデオを見て)改めて世界チャンピオンになった感想は？

ガブリエル：“ドリーム・カム・トゥルー”です。改めて感動しました。

広報部：オナーダンスはサンバ・マッシュケナードでしたが、踊っていてどんなことを思いましたか？

ガブリエル：本当にエンジョイして踊りました。

アンナ：あの時、どうしても涙が出てきて、下のつけまづげがはがれたのが画面でも見えるわ。

広報部：次の目標をお願いします。

ガブリエル&アンナ：4月にあるヨーロッパ選手権で勝つことが、当面の目標です。

広報部：日本の強化選手たちに一言お願いします。

ガブリエル&アンナ：“Practice! Practice! Practice!”そして“Never Give Up!”みんな才能があるので、しっかりやれば必ず将来実を結びます。

強化選手特別練習会と個人レッスン

さて、昨年12月、グランドスラム・ファイナルも終わって主なWDSF競技会が終了した後、ベネデットたちとガブリエルたちが来日して、強化選手を対象に個人レッ

スンと特別強化練習会（レクチャー）を行いました。今回は、ガブリエルたちのラテンは、最近のラテンに絶対必要なフィジカル強化のトレーニング。ベネデットたちのスタンダードは、基本に戻って、ホールドとコネクション、ポスチャーなどの練習を徹底的に指導しました。



地獄の3分間連続ジャンピング・ジャイブベーシック



ラテン選手集合！



記念品プレゼント



スタンダード・レクチャー



スタンダード選手集合！



世界チャンピオン祝賀会
(後列左端が筆者)

第28回全国健康福祉祭ねりんピックやまぐち大会2015

おいでませ！元気な笑顔 ゆめ舞台

ダンススポーツ交流大会

主催：厚生労働省・山口県・光市・一般財団法人長寿社会開発センター他等

ひかり！日本！踊る日

2015年10月18日(日)は日曜日／光市総合体育館

開会式



「ねりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化の祭典です。厚生省創立50周年を記念して、昭和63年(1988年)に兵庫県で第1回大会が開催されました。

第28回目となる全国健康福祉祭ねりんピックやまぐち大会は、平成27年10月17日(土)～20日(火)まで、生涯現役、健康長寿、新たな絆、やまぐちのおもてなしの取り組みを通じて、山口から全国に元気と笑顔を広げる大会を目指し山口県内19市町を会場に25種目が開催されました。

ダンススポーツ交流大会は「おいでませ！山口2015光市実行委員会」と「山口県ダンススポーツ連盟」が一体となって準備にあたり、光市総合体育館において10月17日(土)には監督会議が行われ、水田隆三競技長などから大会要領について説明がありました。翌18日(日)は、ダンススポーツ交流大会が盛大に開催されました。山口県は2015年度のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台ともなっている活気溢れる地域です。会場では健康づくり教室やおもてなしコーナーも設けられ多くの観客が訪れ、大会会場内には光市内各小学校の生徒により描かれた手作りの歓迎ポスターも飾られました。



開会式は9時から行われました。金永由利山口県ダンススポーツ連盟の開会宣言に続き、国旗掲揚、国歌斉唱、市川熙大会会長(光市市長)は歓迎の辞として「健康増進、特に高齢社会ではスポーツが重要、ダンススポーツを通じて世代や地域を超えた交流を図っていただき生涯現役社会の担い手として益々活躍を。ダンススポーツは素晴らしいスポーツであり、2024年には必ずやオリンピック種目となって国民にパワーを与えて欲しい。光市は、三つの宣言をしています。即ち、「安全、安心宣言」「自然敬愛宣言」そして「おっばい都市宣言(ふれあいの子育て)」です。そして伊藤博文公の生誕の地でもあり、明治維新のゆかりの地であり、観光も含めて良い思い出を作っていただきたい」と挨拶されました。江島潔参議院議員は「全国から参加の皆さま大歓迎です。大会開催の準備にあたられた光市民全てに感謝します」と祝辞を述べ、中村賢道光市議会議長からも「スポーツも文化も生涯大切なものです。選手の健闘を！」と歓迎の辞をいただきました。

競技開始に先立ち下記の方々が最高齢者・高齢者表彰されました。



縄田義和(84歳) 組 福岡市チーム
縄田京子(82歳)



貴志博士(83歳) 組 和歌山県チーム
藤山玲子(81歳)



西條益子(仙台市チーム83歳)



早崎義仁(川崎市チーム82歳)



鶴丸和義(福岡市チーム81歳)



広瀬久野(京都府チーム81歳)

特別表彰として、周防国熊毛郡(現山口県光市)出身で初代内閣総理大臣となった伊藤博文公の誕生日と市川熙大会会長(光市市長)の誕生日が同じ9月2日生まれから、出場者の中から同じ誕生日の選手には「光市市長賞」としてイチゴの目録が贈られました。時期に入ったら特産の苺が贈られることになっています。



平野洋子(山梨県チーム・左)
長岡明子(島根県チーム・右)

アトラクションとして、光市の伝統と文化として育成発展を目指す「ひかり和太鼓」、昼休みには小学1年生から高校3年生までの若いメンバーによる新体操クラブ「HikariRG(ひかりあーるじー)」の素晴らしい演技が披露されました。

競技は朝から白熱した戦いが繰り広げられました。ワルツ、タンゴ、チャチャチャ、ルンバの個人戦は京都市チームの谷口主嘉・谷口小夜子組が四冠を達成しました。また注目の団体戦も京都市チームが見事優勝に輝きました。



準優勝
岩瀬純夫・岩瀬恵理子組 東京都
ワルツ・タンゴ(1位から3位まで同順)



江島参議院議員



左から市川市長、中村市議会議長、金永山口県DS連盟会長、水田競技長

団体戦の結果



優勝 京都市



準優勝 東京都A



第3位 福島県



第4位 名古屋市



第5位 浜松市



第6位 神奈川県

特別デモン ストレーション



西村康弘・大竹舞組 (2015年三笠宮杯ラテンファイナリスト)



オレクシー・グザール・太田史子組 (2015年三笠宮杯スタンダード全日本チャンピオン)

ねんりんピックを終えて

山口県ダンススポーツ連盟会長 金永由利

雲ひとつない真っ青な空の下で始まった山口県でのねんりんピック。ダンススポーツも全国から多くの選手を迎え、会場は熱気でいっぱいでした。この日を迎えるまでには色々な苦労や困難があったのも確かです。「来て良かった」と思ってもらえるにはどうしたらいいか…、また一番の心配は大会をスムーズに進行するためには何をしなければならないか…とにかく心配が尽きませんでした。そこで皆が一致して思ったことは、全てが完璧にスムーズにいくことを考えるより、「多少のミスは皆でカバーしていこう。そしてこの一日をみんな素敵な笑顔で乗り切ろう」ということでした。幸いにしてスムーズな進行をすることが出来、合間の時間には、全国の多くの選手とのふれあいや交流を持つことが出来ました。

個人戦もさることながら、団体戦では大いに盛り上がり、各都府県の応援は圧巻のパフォーマンスでした。またオレクシー・太田組、西村・大竹組のデモンストレーションでは、素晴らしい踊りに会場全体が魅了され、ひと時酔いしれていました。

このねんりんピックを通して思うことは、日本ダンススポーツ連盟を始め、色々な関係各位の御協力がなければ決して成し得ることではないということです。ここにお礼を申し上げます。来年は長崎県佐世保市でお会いしましょう。



ねんりんピックに出場して

山梨県代表選手 (山梨県ダンススポーツ連盟) 松原 隆

「おいでませ山口ねんりんピック2015」のダンススポーツ交流大会に参加した私達新人山梨チーム一同は、全国の優秀な選手の集まる競技会の素晴らしさにただ驚くばかりでした。60歳以上とは思えない動きと、優雅な踊りの熱戦を見てさすが各県を代表する選手ばかりと只々感心しました。オレクシー組、西村組の華麗なデモンストレーションが披露されると歓声で盛り上がり一段と会場は熱気に包まれ、ダンスの素晴らしさを満喫した一日でした。

惨敗に終わった団体戦でしたが他県の応援をすることで、とても楽しい時間を共有させて頂き、素晴らしい思い出ができました。また、メンバーの一人が光市生まれの初代内閣総理大臣伊藤博文公と誕生日が同じということで光市市長賞を頂いたのも同じ県の仲間として嬉しいことでした。

色々な面で刺激を受けましたのでこれからも健康に気を付けていつまでも楽しく踊れるよう心がけたいと思います。



個人戦



優勝 谷口主嘉・谷口小夜子組 京都市 (ワルツ・タンゴ優勝)



準優勝 伊藤茂・伊藤千鶴組 名古屋市 (ワルツ・タンゴ第3位)



第3位 平沢一夫・平沢恵子組 茨城県

チャチャチャ・ルンバ (1位から3位まで同順)



団体戦



國廣忍・光枝組による選手宣誓



健康づくり教室では体力測定



もてなし(豚汁)コーナー



DanceDanceDance@YOKOHAMA 2015

ダンスフェスティバル

「踊って・観て・楽しむダンスフェスティバル」

2015年9月29日(土)／横浜市中区・大さん橋ホール

横浜市では3年に一度のダンスの祭典「Dance Dance Dance@YOKOHAMA」の第2回目が開催され、オールジャンルを網羅した市民参加型の祭典の一環として横浜市ダンススポーツ連盟が主管となり、9月29日(土)、「踊って・観て・楽しむダンスフェスティバル」を、港の景色が素晴らしい横浜市中区の大さん橋ホールにおいて約1000名の皆様に参加、盛大に開催することができました。ダンスを楽しんでいただくことを第一に、ダンスタイム、ミキシングを多く企画しました。参加された皆さんは、音楽に乗りダンスを楽しんでいたいただいたと思います。

ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスフィットネス“ZUMBA”のエクササイズでは、リズムに合わせて参加者がフロアで踊り、ジュニアダンスでは、横浜中央キッズの皆さんの可愛い踊りに会場から拍手が湧きました。神奈川県ダンススポーツクラブ(DSC)、横浜市ダンススポーツ連盟所属のA級選手達がスタンダードの競技会風景を存分にアピールして、会場を盛りあげました。

後半はデモンストラクションタイムで楽しんでいただきました。全日本アマチュアトップ選手を育成したヒルズ学園の坂本先生からエピソードを交えた選手の紹介があり、ラテンは名越慎悟・明子組と海老原拳人・タカギ



会場風景

ルナ組、スタンダードは小嶋みなと・森田めぐみ組が素晴らしい踊りを披露し、会場から大きな拍手がありました。最後は、JBDF東部総局ラテンA級今井哲平・向原理恵組と同スタンダードA級鈴木 啓・古川玲奈組が、プロデモンストラクションを披露して盛り上がりしました。

今回は、同じ地域でダンスの活動を行っているプロ団体である神奈川県ボールルームダンス連盟にもご協力をいただき事業を進めて参りました。今後もアマ団体とかプロ団体とかの垣根を超えて、ダンスの普及活動を共に進めることが必要と考えている次第です。

(神奈川県ダンススポーツ連盟 萩原 憲)

デモンストラクション



名越慎悟・名越明子組



ジュニアの踊り



ZUMBAの講習



海老原拳人・タカギ ルナ組



小嶋みなと・盛田めぐみ組



今井哲平・向原理恵組



鈴木 啓・古川玲奈組



ヨーロッパ・マスターズ・ゲームズ シニアダンススポーツ競技会

京都府ダンススポーツ連盟会長 谷口主嘉

「ヨーロッパ・マスターズ・ゲームズ」という名の35歳以上のアスリートを対象としたシニア・オリンピックのような競技会が、2008年にスイスで2011年にイタリアで開催され、そして今年2015年にはフランス・ニース市で開催されました。全30競技が行われ、その中に組み込まれる形で10月2日から3日間、ダンススポーツの競技会が行われたのです。シニアⅡラテン世界選手権、第1回目となるシニアⅡ10ダンス世界選手権をはじめとして各シニア部門のワールドカップなどが同時開催されました。

日本からの出場組数はなんと17組34名。日本での競技ダンスにおけるシニア世代の盛り上がり象徴しているようです。

世界選手権は通常JDSFが統括してエントリー手続きをしていますが、今回はWEB上で個々に申し込みをする必要があり参加するメンバーはその手続きに苦労いたしました。さらに英語かフランス語で記載された医師の診断書を要求され非常にハードルの高いエントリー手続きとなりました。しかしながら皆でLINEのグループ機能を使い、情報交換をして助け合いながら全員無事に申し込みをすることができました。そのおかげで皆が親しくなり、今回のニース遠征がより楽しいものになりました。勿論、ホテルもバラバラ、出場セクションもまちま

ちで、なかなか統一行動がとりにくい状況でしたが、その中でもお互いの応援を楽しみ、オープニングパレードを楽しみ、打ち上げ懇親会を楽しみ、あっと言う間の3日間が過ぎて行きました。

海外での競技会はハプニングや不都合がつき物で、それがまた楽しく思い出になるのですが、今回も十分ハプニングがありました。

まず、今回は競技会期間中フランス南部では数十年に一度という大雨になり、20名近い死者が出るという惨事が発生しました。選手の中にも観光に行ったカンヌの駅で洪水にあい、駅の2階で一夜を過ごし一睡もできないままタクシーで競技会に駆け付けた方もいました。また司会が話す南部フランスなまりの英語が非常に聞き取りづらく、しかも最初背番号張り出しがされないままの進行なので、ヒートを間違える選手が続出しました。また、突然1次予選の開始時刻が2時間早まったために出場できなかった選手がいたり……、日本では考えられないような運営が行われていました。

そのような状況にあって日本から参加した17組はチームジャパンとして、連帯意識をもち応援をしあい忘れられない思い出を作ることができました。

主な成績は次の通りです。



World Championship Ten Dance Senior II

第8位 谷口主嘉・谷口小夜子組

World Cup Standard Senior III

第2位 谷口主嘉・谷口小夜子組



European Masters Games Latin Senior I

第7位 河野弦二郎・河野サヨ組



World Championship Latin Senior II

第12位 坂本弘文・坂本純子組

European Masters Games Latin Senior II

第3位 武田澄人・武田 歩組

World Cup Standard Senior IV



第3位
伊藤 茂・伊藤千鶴組



第4位
西尾治一・西尾聖子組



第5位
林 伸男・林 民子組



選手集合!



明日の流通をリードする

ディスカウントストアー

ロチャース

本社 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-6
TEL 0422-21-3891 FAX 0422-21-2536

ロチャース

ネット店舗への行き方



検索

ロチャース

検索

URL <http://www.rogers.co.jp>

※チラシも見れます。

ダンス・ダンス・ダンス
第78号 (WINTER)

平成28年1月発行

■ 発行人／山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)

■ 編集長／神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部)

■ 企画／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部

■ 発行所／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857
<http://www.jdsf.or.jp>

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。